



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《米国MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)市場概況》

	MLP		米国株		米国REIT		米10年国債 利回り	WTI 原油先物 (ドル/バレル)	ヘンリーハブ 天然ガス先物 (ドル/百万 BTU)
	トータル リターン指数	予想配当 利回り	トータル リターン指数	予想配当 利回り	トータル リターン指数	予想配当 利回り			
2020年12月31日	812.30	11.11%	7,759.35	1.54%	20,258.86	3.36%	0.91%	48.52	2.54
2021年1月29日	859.76	9.98%	7,681.01	1.59%	20,244.45	3.43%	1.07%	52.20	2.56
2021年2月26日	926.58	9.35%	7,892.81	1.57%	20,795.58	3.36%	1.40%	61.50	2.77
前月比	7.8%	-0.63%	2.8%	-0.02%	2.7%	-0.07%	0.34%	17.8%	8.1%
年初来	14.1%	-1.76%	1.7%	0.03%	2.6%	0.00%	0.49%	26.8%	9.1%
前年比	0.3%	-2.37%	31.3%	-0.56%	3.4%	-0.56%	0.26%	37.4%	64.5%

(出所)ブルームバーグ

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE NAREIT All Equity REITs Index、すべて配当込み

《先月の米国MLP市場の動き》

2月のアレリアンMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)指数は、上昇しました。

上旬は、バイデン政権による追加経済対策の成立期待が高まる中、景気回復によりエネルギー需要が回復するとの見方が強まったことなどから、MLP市場は上昇しました。

中旬は、追加経済対策への期待が根強いことに加え、米国で新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、景気の回復が進むとの見方が強まったことなどから、MLP市場は底堅い動きとなりました。

下旬に入ってから、寒波の影響などから原油価格が上昇する中、MLP市場は堅調に推移しました。しかし、月末にかけては、米国債利回りが急速に上昇したことを受けて、株式市場全体が調整し、MLP市場でも利益確定の売りが優勢となりました。一方で、今回の金利上昇がMLPに与える影響は、以前と比べて限定的であると考えられます。過去においては、MLPおよび中流エネルギー事業者は資本市場で資金を調達し成長の源泉としていたため、金利上昇はネガティブに作用する局面もありましたが、現在においては負債削減が進み資本市場への依存度が低下していることから、財務上における悪影響は少ないとみています。

《米国MLPトータルリターンおよび配当利回りの推移》

MLP・米国株・米国REITのトータルリターン指数

(2019年末=100)



(出所)ブルームバーグ (期間)2020年1月2日～2021年2月26日

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE NAREIT All Equity REITs Index、すべて配当込み

MLP・米国株・米国REITの配当利回りと長期金利



●当資料は、説明資料としてレッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したのですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●当社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《先月の米国MLP・中流エネルギー企業関連ニュース》

米国MLP・中流エネルギー企業の 2020年10-12月期の決算状況

- 2月は、多くの米国MLP・中流エネルギー企業が2020年10-12月期の決算発表を行った（右表参照）。
- (2月5日)米大手石油会社Chevron社は子会社のNoble Midstream Partners LPの完全子会社化(買収)を提案。
- (2月11日)米国の大手中流エネルギー企業の一つであるEnergy Transfer LPは、新たに代替エネルギー・プロジェクトを開発するための社内グループの立ち上げを公表。再生可能エネルギー・プロジェクト等を通じて、同社のオペレーション上の環境負荷削減や既存パイプライン網の活用を模索。
- (2月17日)Energy Transfer LPは、米国で原油・天然ガスのインフラを開発・運営するEnable Midstream Partners LPの買収することで合意。買収は株式交換によって実施され、買収額は約72億ドル相当。買収取引は2021年央に完了予定。

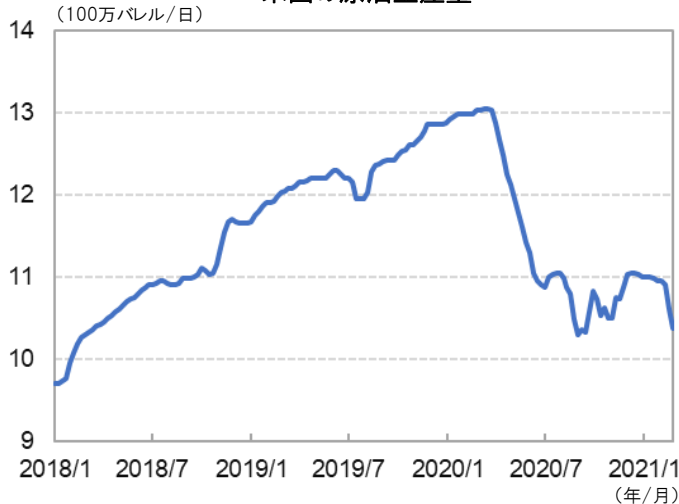
銘柄名	調整後 EBITDA	前年比	市場予想 対比
MPLX LP	13.55億ドル	+2.7%	↗
Magellan Midstream Partners LP	3.40億ドル	-21.6%	↗
Enterprise Products Partners LP	20.56億ドル	+1.8%	↗
Plains All American Pipeline LP	5.59億ドル	-35.0%	↘
Enbridge	32.01億カナダドル	-0.5%	↘
Energy Transfer LP	25.92億ドル	-6.4%	概ね一致
Targa Resources	4.38億ドル	-5.8%	↗
TC Energy	23.23億カナダドル	+0.3%	概ね一致
Williams	13.36億ドル	+4.0%	↗
ONEOK	7.42億ドル	+12.3%	↘
Western Midstream Partners LP	4.84億ドル	+8.1%	↗
Cheniere Energy Partners LP	7.72億ドル	+0.8%	↗

《米国の原油生産量と中流エネルギー企業の財務状況》

(出所)各種報道等

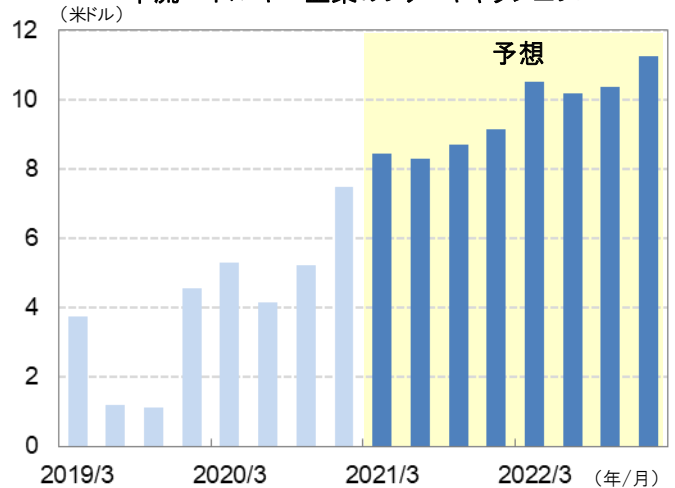
- 米国の原油生産量は、コロナ禍のエネルギー需要の減少に加え、足元ではテキサス州の寒波の影響により低下傾向にあります。一方で、今後はワクチン普及による経済回復・エネルギー需要の拡大が、生産量の増加につながる事が期待され、こうした動きは中流エネルギー企業にとって追い風になると考えられます。
- 中流エネルギー企業のフリーキャッシュフローは今後増加することが予想されており、こうしたファンダメンタルズの見直しがMLP市場の上昇に繋がることが期待されます。

米国の原油生産量



(出所)EIA、週次データ (期間)2018年1月初～2021年2月末
※4週間移動平均

中流エネルギー企業のフリーキャッシュフロー



(出所)ブルームバーグ、四半期データ (期間)2019年第1四半期～2022年第4四半期
※中流エネルギー企業は中流MLP銘柄を含むアメリアン中流エネルギー指数
※予想は2021年3月1日時点の市場予想

●当資料は、説明資料としてレッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●当社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。